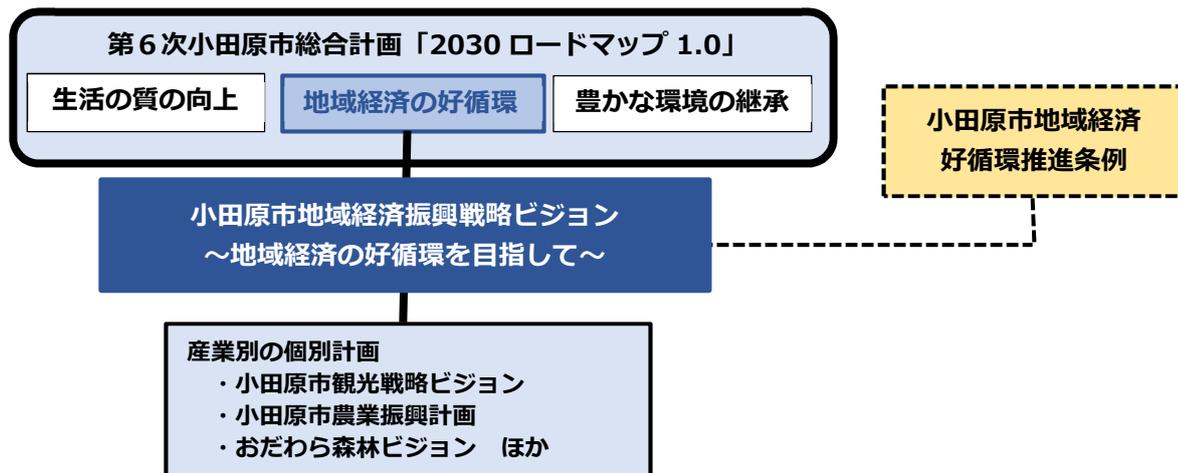


小田原市地域経済振興戦略ビジョン～地域経済の好循環を目指して～【概要版】

第1章 趣旨

小田原市では、第6次小田原市総合計画「2030 ロードマップ 1.0」の内容を踏まえ、公民で共有し、地域経済の振興に向けた指針を示した「小田原市地域経済振興戦略ビジョン～地域経済の好循環を目指して～」を策定しました。計画期間は令和5年度から令和12年度までの8年間とします。

本ビジョンは、総合計画のまちづくりの目標の一つである「地域経済の好循環」と整合性を図るほか、国際目標であるSDGsの取組などを意識しながら、令和5年4月に施行する、議員提案により制定された小田原市地域経済好循環推進条例と両輪で進めていくものとします。



第2章 分析

策定にあたっては、以下の分析・調査を行い、課題を整理しました。

◆分析・調査

- ・統計データ等を活用した、市内経済の動向分析
- ・市内事業者・地域団体向けアンケート（市内1,500事業所・44団体）
- ・市内事業者向けヒアリング（5社（団体））

◆課題の整理

消費拡大に向けた対応が求められている

全体の総消費は、周辺地域に比べると高く、観光消費額は増加し、堅調が続いているとともに、小田原はさらなる観光客増加のポテンシャルを有しているが、社会情勢などが起因して住民消費の減少が危惧される。

企業誘致や企業立地のさらなる推進が求められている

市内産業や企業は、IT化、デジタル化への意識の希薄さなどから投資に積極的でなく、市場規模が小さく育っていないことから、情報通信業の産業割合が低いほか、求人と求職のミスマッチにより人材が不足しているなどの課題を抱えている。

イノベーションを促進するための場づくりが期待されている

近年の創業率の向上や移住者が増加する中、若者によるコミュニティの活発化が、まちの魅力の一つとなっているほか、多様な働き方の広がりによって、サテライトオフィス誘致などの需要も増加しているものの、ハードが不足している。

第3章 戦略

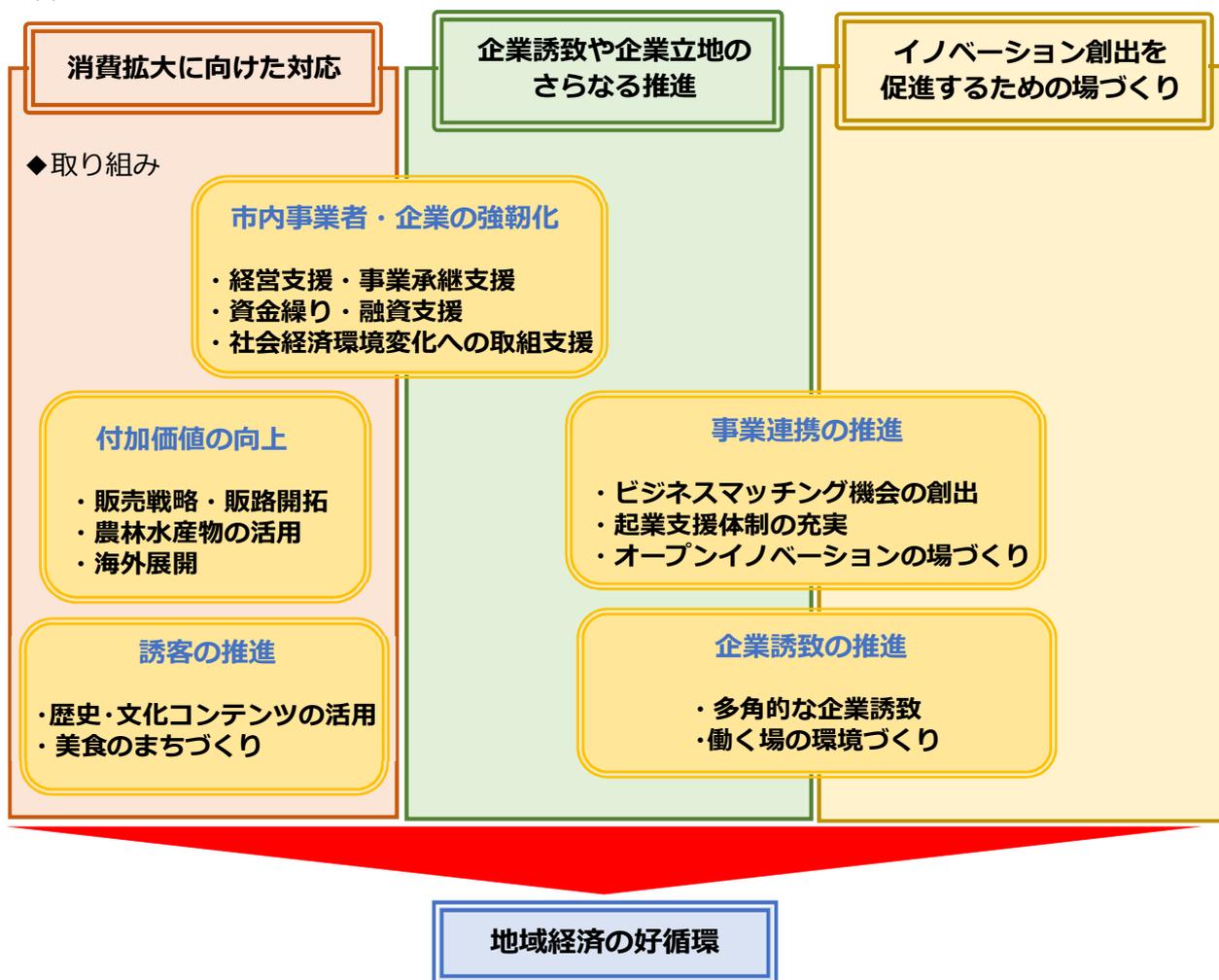
◆地域経済振興に向けた基本方針

地域資源を最大限に生かした「需要喚起」と「地域内循環」による経済の活性化

地域経済の振興のため、「地域資源」を最大限に生かした需要喚起を積極的に図っていくことで、消費の拡大による経済活動の活性化や、市内に「ヒト・モノ・コト」を呼び込み、経済規模の拡大と経済成長を促進していきます。

また、地域内消費を促進する仕組みづくりや事業者間の連携の推進によって、地域内循環を高めしていくことで、地域企業の成長促進と持続的な経済振興を目指していきます。

◆課題と今後の方向性



第4章 策定後の動き

本ビジョンは地域経済の振興の指針であり、行政のみならず、関連団体や民間と共有し、連携していくことが必要不可欠ですので、公民連携しながら、本ビジョンに基づく事業や取り組みを推進します。

また、着実な地域経済の振興を図るため、総合計画の実行計画の3年3期に合わせて、適宜振り返りや見直しを検討していきます。